

# キャリア教育新聞

No.14

2026年3月  
発行

共創共学  
プラットフォーム  
(塩尻市教育委員会委託事業)

## 探究の基礎を学ぶ

### 塩尻志学館高校1年生の学び

三月六日(金)、長野県塩尻志学館高等学校にて、一年生による地域課題探究学習「シオジリ学」の成果発表会が開催された。

「シオジリ学」は、総合学科の必修科目「産業社会と人間」の柱となる取り組みで、教職員が「第六次塩尻市総合計画」を読み解き設定した十のミッションを起点に学習を展開。生徒たちは、各ミッションから「将来の塩尻市はどうあってほしいか」という自らの「ありたい姿」を導き出し、その実現のために何をすべきかを具体的な探究テーマに据えて、昨年十月からグループ活動を続けてきた。

会場には、一年生全生徒のほか、各グループのアドバイザーを務めた塩尻市役所八部署と二団体の担当者など、約三百名が集結した。前半のポスターセッションでは、大体育館の壁面に掲示された資料をもとに各班が熱心にプレゼンテーションを行い、後半には代表グループによる全体発表が行われた。

堀内校長は講評で、「地域の皆様のご協力により、現在の形での『シオジリ学』が定着して五年目を迎えました。今日の発表からは皆さんの大きな成長が感じられ、三年次で行う個人研究の基礎がしっかりと身についたと確信しています」と生徒たちを激励。半年間にわたる息の長い学習を終えた生徒たちの顔には安堵と充実感が溢れていた。



▲ポスターセッションの様子

約半年間、仲間と共に探究をしたシオジリ学が終わりました。意見が上手く噛み合わないなど、大変な事もありましたが、最終的には形ある物へとまとめる事ができました。



生徒の声

塩尻市の抱える問題を自分ごととして捉え、課題に取り組む生徒たちの姿が印象的でした。解決策を模索する中で、生徒ともに塩尻市について多くを学ぶことができました。



教員の声

## 研究部会

塩尻市キャリア教育委員会は今年度、委員会内に新たに「研究部会」を設置した。

十八名の委員は希望に応じて三つの部会に分かれ、年度内に二〜三回の会合を持って研究を重ねた。

活動を通じ、学校や校種の枠を越えた委員相互の有意義な交流の場となった。

### 【部会名と所属委員学校種内訳】

- 小学校研究部会 (小学校5名)
- 企業見学・職場体験研究部会 (小学校3名・中学校3名)
- 探究型キャリア教育研究発表会研究部会 (中学校3名・高校4名)

### 【小学校研究部会】

#### ○活動の目的

「塩尻市版小学校キャリア学習の手引き」作成を目指し5名の委員が指導案の作成に取り組む

#### ○活動のねらい

赤井友美氏(塩尻市キャリア教育アドバイザー)より、小学生段階に求められるキャリア意識について助言をいただく中で、委員は所属する学校の推進計画に位置付けて指導案を作成し交流を行う。

#### ○活動の成果

5つの指導案が作成された。後日、市内小学校に配布予定。

### ◆お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局 (NPO法人MEGURU)  
塩尻市教育委員会事務局学校教育課 (0263-52-0280 内線: 3112)